

○重要業績評価指標(KPI)の設定及び成果

資料4

1.プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業

1	本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R4年度	2年目(増分) R5年度	3年目(増分) R6年度	累計
		地域企業に対する副業・兼業を含めた人材マッチングの成約件数	拠点の活動実績を直接的に測る指標となるため(支援企業への聞き取りにより計測)	0件	KPIの目標値	10	16	30
			計測年月	KPIの実績値	13	41	—	54
			令和4年3月	目標値に対する達成度(%)	130.0	256.3	—	96.4
2	本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R4年度	2年目(増分) R5年度	3年目(増分) R6年度	累計
	地域企業に対する人材成約件数のうち副業・兼業人材のマッチング成約件数	渡航費補助の効果による副業・兼業の成約状況を測る指標となるため(支援企業への聞き取りにより計測)	0件	KPIの目標値	2	3	30	35
			計測年月	KPIの実績値	7	36	—	43
			令和4年3月	目標値に対する達成度(%)	350.0	1200.0	—	122.9
3	本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R4年度	2年目(増分) R5年度	3年目(増分) R6年度	累計
	地域企業の経営課題に関する相談受付数	人材採用を行うためのベースとなる活動量を測る指標となるため(対応実績を記録)	0件	KPIの目標値	102	26	32	160
			計測年月	KPIの実績値	144	18	—	162
			令和4年3月	目標値に対する達成度(%)	141.2	69.2	—	101.3
4	本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R4年度	2年目(増分) R5年度	3年目(増分) R6年度	累計
	地域企業の経営課題に関する相談受付数のうち地元金融機関等との連携により獲得した相談受付数	地域企業へのアプローチ等を行う際に必要な地元金融機関等との連携状況を測る指標となるため(対応実績を記録)	0件	KPIの目標値	6	2	10	18
			計測年月	KPIの実績値	9	15	—	24
			令和4年3月	目標値に対する達成度(%)	150.0	750.0	—	133.3

## 2.「沖縄県SDGs未来都市モデル事業」～地域課題解決型イノベーション創出を目指す「沖縄県SDGsステークホルダープラットフォーム(仮称)」の取組を通じた沖縄モデルの形成

1	本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R4年度	2年目(増分) R5年度	3年目(増分) R6年度	累計
	SDGsに取り組む県内企業等の登録・認証件数	「SDGsに取り組む県内企業等の登録・認証件数」は、毎年の事業の成果が直接反映されるものではなく、県内の企業・団体等が地域課題の解決に参画する状況を把握するものとして計測することで、プラットフォームに関する取組、認証制度の創設などを含めたアウトカムとして測定できる。	312件	計測年月	KPIの目標値	100	100	100
			令和4年3月	KPIの実績値	538	118	—	656
				目標値に対する達成度(%)	538.0	118.0	—	218.7
2	本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R4年度	2年目(増分) R5年度	3年目(増分) R6年度	累計
	県内EVカーシェアリングを実施する自治体数	「県内EVカーシェアリング実施件数」は、県内におけるEVカーシェアリングの取組の横展開の状況を計測するものであり、実証事業における活動指標などの事業の直接的な効果ではなく、総合的なアウトカムとして効果を測定できる。	1件	計測年月	KPIの目標値	2	3	5
			令和4年3月	KPIの実績値	1	2	—	3
				目標値に対する達成度(%)	50.0	66.7	—	30.0

## 3.働きやすい環境づくり推進事業

1	本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R4年度	2年目(増分) R5年度	3年目(増分) R6年度	累計
	ワーク・ライフ・バランス認証企業数	ワーク・ライフ・バランス企業認証制度は、平成19年度から実施してきた沖縄県の制度である。「沖縄県人口増加計画(改訂版)」沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略においても、関連指標としてあげられていることから、KPIとして適していると考えられる。	100社	計測年月	KPIの目標値	9	9	9
			令和4年3月	KPIの実績値	6	9	—	15
				目標値に対する達成度(%)	66.7	100.0	—	55.6
2	本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R4年度	2年目(増分) R5年度	3年目(増分) R6年度	累計
	県内企業における男性育児休業取得率	令和4年度からの育児介護休業法改正により、男性育児休業取得促進の取組が段階的に施行されて企業が対応を迫られる中、本事業を実施することで男性育児休業取得率のさらなる増加に繋がる。この数値は、企業が労働力を確保し、働く一人ひとりがより良い将来展望を持ち、安心して働ける社会の実現に寄与するため、指標として適している。	18.5%	計測年月	KPIの目標値	3	3	3
			令和3年7月	KPIの実績値	16.4	5.4	—	21.8
				目標値に対する達成度(%)	546.7	180.0	—	242.2
3	本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R4年度	2年目(増分) R5年度	3年目(増分) R6年度	累計
	県内企業における付加価値労働生産性	本事業を実施することで生産性を維持しながら労働時間の短縮が図られ、付加価値労働生産性の増加に繋がる。令和4年度から始まる新しい沖縄振興計画においても、県民所得の着実な向上につながる企業の稼ぐ力の強化を図るにあたり、類似する指標があげられていることから、この指標はKPIとして適している。	3,727円	計測年月	KPIの目標値	74.5	76	77.6
			令和3年8月	KPIの実績値	-293.9	110.2	—	-183.7
				目標値に対する達成度(%)	-394.5	145.0	—	-80.5

#### 4.離島・過疎コミュニティビジネス支援事業

1	本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R4年度	2年目(増分) R5年度	3年目(増分) R6年度	累計
	コミュニティビジネスによって生まれた雇用数	コミュニティビジネスの構築によって生まれた雇用数を把握することにより、事業の直接的な効果を計測できる。	0件	計測年月	KPIの目標値	4	8	4
		令和4年3月		KPIの実績値	3	4	—	7
				目標値に対する達成度(%)	75.0	50.0	—	43.8
2	本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R4年度	2年目(増分) R5年度	3年目(増分) R6年度	累計
	サービスの利用者数が増加した団体数	サービスの利用者数が増加した団体数を把握することで、事業の直接的な効果を計測できる。	0団体	計測年月	KPIの目標値	4	8	4
		令和4年3月		KPIの実績値	3	8	—	11
				目標値に対する達成度(%)	75.0	100.0	—	68.8
3	本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R4年度	2年目(増分) R5年度	3年目(増分) R6年度	累計
	コミュニティビジネスを構築した件数	コミュニティビジネスが展開している件数を把握することにより、事業の直接的な効果を計測できる。	0件	計測年月	KPIの目標値	0	4	4
		令和4年3月		KPIの実績値	0	3	—	3
				目標値に対する達成度(%)	0	75.0	—	37.5
4	本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R4年度	2年目(増分) R5年度	3年目(増分) R6年度	累計
	先導的モデルの事例や支援ノウハウについて横展開を図るためのシンポジウムの入場者数	先導的モデルの事例やそれを育成するための積極的支援に関するノウハウの横展開を図ることを目的として開催するシンポジウムの入場者数を把握することにより、事業の直接的な効果を計測できる。	0人	計測年月	KPIの目標値	0	0	150
		令和4年3月		KPIの実績値	—	—	—	0
				目標値に対する達成度(%)	—	—	—	0

## 5. デジタルリテラシー強化・ワーケーション活用型IT活性化事業

1	本事業における重要業績評価指標 (KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R4年度	2年目(増分) R5年度	3年目(増分) R6年度	累計
	デジタルリテラシーに関する講座の受講者数 (測定方法:各講座受講者の延べ人数)	事業の実施によるデジタルリテラシー講座の受講者増加は、受講者が今後、経営やビジネスのデジタル化を担う人材となり、本県企業のデジタル化に寄与することが期待されることから、KPIに適している。	0人	計測年月	KPIの目標値	200	250	300
			令和4年3月	KPIの実績値	387	657	—	1044
				目標値に対する達成度(%)	193.5	262.8	—	139.2
2	本事業における重要業績評価指標 (KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R4年度	2年目(増分) R5年度	3年目(増分) R6年度	累計
	自社のDXやデジタル化の取組に有益と答えたアンケート結果の割合 (測定方法:講座後のアンケート)	企業のDXやデジタル化の取組に有益となるセミナーや講座を通して、デジタルを使う側の人材のすそ野を広げつつポトムアップが図られ、結果的に各企業の稼ぐ力が向上することが期待されることから、KPIに適している。	0%	計測年月	KPIの目標値	60	5	5
			令和4年3月	KPIの実績値	94	3	—	97
				目標値に対する達成度(%)	156.7	60.0	—	138.6
3	本事業における重要業績評価指標 (KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R4年度	2年目(増分) R5年度	3年目(増分) R6年度	累計
	ワークセッション等に参加した人数 (計測方法:参加者数)	ワークセッション等に参加した人数の増加は、県内人材と県外IT人材の交流によって地域課題の解決やDXの促進に寄与することが期待されることから、KPIに採用する。	0人	計測年月	KPIの目標値	200	200	200
			令和4年3月	KPIの実績値	241	162	—	403
				目標値に対する達成度(%)	120.5	81.0	—	67.2
4	本事業における重要業績評価指標 (KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R4年度	2年目(増分) R5年度	3年目(増分) R6年度	累計
	本事業をきっかけに県外企業が本県に立地した件数 (計測方法:県外企業が本県に立地した件数)	県外企業が本県に立地した件数の増加は、県内産業の振興に寄与することが期待されるから、KPIに採用する。	0件	計測年月	KPIの目標値	0	2	2
			令和4年3月	KPIの実績値	0	0	—	0
				目標値に対する達成度(%)	0	0	—	0

## 6.沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業

1	本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R5年度	2年目(増分) R6年度	3年目(増分) R7年度	累計
	離島・過疎地域における2地域居住者数	現在居住している地域とは別に、県内の離島・過疎地域の中短期滞在を通して田舎暮らしを体験し愛着を持って貰うことで、将来的な移住に繋がる可能性があり、関係人口の創出を測る指標とする。	0人	計測年月	KPIの目標値	10	10	10
			令和5年3月	KPIの実績値	8	—	—	8
				目標値に対する達成度(%)	80.0	—	—	26.7
2	本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R5年度	2年目(増分) R6年度	3年目(増分) R7年度	累計
	移住にかかる相談件数	具体的な移住の検討に向けた発展を図るため移住情報を発信することから、当該情報を基にした移住相談件数を把握することで事業の直接的な効果を計測できる。	189件	KPIの目標値	30	30	30	90.0
			計測年月	KPIの実績値	153	—	—	153.0
			令和5年3月	目標値に対する達成度(%)	510.0	—	—	170.0
3	本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R5年度	2年目(増分) R6年度	3年目(増分) R7年度	累計
	オンライン学習塾及び見まもりサービス利用者数	デジタル技術の活用により定住条件の整備を図り移住定住を促進するため、環境整備したサービス利用者数を把握することにより、事業の直接的な効果を計測できる。	0人	KPIの目標値	200	50	50	300.0
			計測年月	KPIの実績値	201	—	—	201
			令和5年3月	目標値に対する達成度(%)	100.5	—	—	67.0

## 7.スタートアップ創業支援事業

1	本事業における重要業績評価指標 (KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R5年度	2年目(増分) R6年度	3年目(増分) R7年度	累計
	MVP (Minimum Viable Product)の開発数	創業支援事業については、創業後は、コンソーシアム内で共有された情報をもとに、成長に応じた適切な支援策へと繋げることであり、MVP (Minimum Viable Product)の開発数は適切な支援に接続できたか効果を図ることができることから、評価指標とする。計測については、コンソーシアム内で独自集計する。	0件	計測年月	KPIの目標値	5	5	5
		令和4年12月		KPIの実績値	5	—	—	5
				目標値に対する達成度(%)	100.0	—	—	33.3
2	本事業における重要業績評価指標 (KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R5年度	2年目(増分) R6年度	3年目(増分) R7年度	累計
	相談窓口における相談対応件数	スタートアップ創業相談窓口の利用人数は、スタートアップ創業に繋がった効果を図ることができることから、評価指標とする。計測については、交付対象事業により設置する相談窓口において集計する。	0件	KPIの目標値	360	360	360	1080
		計測年月		KPIの実績値	255	—	—	255
		令和4年12月		目標値に対する達成度(%)	70.8	—	—	23.6
3	本事業における重要業績評価指標 (KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R5年度	2年目(増分) R6年度	3年目(増分) R7年度	累計
	アクセラレーションプログラム参加企業のうち投資家やベンチャーキャピタルとのマッチング件数	本プログラムの参加により投資家等とビジネスマッチングを行うことは、適切な支援を実施できたか効果を図ることができることから、評価指標とする。計測については、メンターによる事業計画の伴走支援の実績を集計するとともに、プログラム終了後もコンソーシアム内で独自集計する。	0件	KPIの目標値	10	10	10	30
		計測年月		KPIの実績値	8	—	—	8
		令和4年12月		目標値に対する達成度(%)	80.0	—	—	26.7
4	本事業における重要業績評価指標 (KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前		1年目(増分) R5年度	2年目(増分) R6年度	3年目(増分) R7年度	累計
	スタートアップの創出数(創業数)	国の「スタートアップ育成5か年計画」においては、スタートアップの創出数とスタートアップの資金調達額を成果目標として設定しているところである。また、新・沖縄21世紀ビジョン実施計画においても、スタートアップの創出数を成果指標として設定しているところである。スタートアップ創業支援の活用により、法人設立に至ったスタートアップ創業数は、交付対象事業の直接的な効果を図ることができることから評価指標とする。計測については、コンソーシアム内で独自集計する。	0社	KPIの目標値	10	10	10	30
		計測年月		KPIの実績値	12	—	—	12
		令和4年12月		目標値に対する達成度(%)	120.0	—	—	40.0

## 8. 沖縄県移住支援・マッチング支援事業、スタートアップ起業支援金交付事業

No.	本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称	KPIの設定理由	KPIの当初値(単位) ※事業開始前	実績				
				1年目(増分) R5年度	2年目(増分) R6年度	3年目(増分) R7年度	累計	
1	本移住支援事業に基づく移住者数	2020年の国勢調査によれば、本県で移住支援事業を実施するうるま市(12.5万人)と伊江村(同0.4万人)の人口は合わせて約12.9万人であり、東京圏を除く43道府県の人口の合計約9,100万人に対する割合は、約0.15%であるから、国全体の目標10,000人の0.15%である15人を2027年度の移住者数のKPIとして設定した。	0人	KPIの目標値	8	10	12	30
			計測年月	KPIの実績値	0	—	—	0
			令和4年12月	目標値に対する達成度(%)	0	—	—	0.0
2	本起業支援事業に基づく起業者数	創業支援事業については、創業後は、コンソーシアム内で共有された情報をもとに、成長に応じた適切な支援策へと繋げることとしており、MVP(Minimum Viable Product)の開発数は適切な支援に接続できたか効果を図ることができることから、評価指標とする。計測については、コンソーシアム内で独自集計する。	0人	KPIの目標値	10	10	10	30
			計測年月	KPIの実績値	12	—	—	—
			令和5年3月	目標値に対する達成度(%)	120.0	—	—	—
3	マッチングサイトに新たに掲載された求人数	多くの移住・就業を実現させるため、県内中小企業等が持つ魅力を休職者に対して効果的に発信するためのマッチングサイトの運用状況を評価するため。	0件	KPIの目標値	30	50	50	130
			計測年月	KPIの実績値	2	—	—	2
			令和5年3月	目標値に対する達成度(%)	6.7	—	—	1.5
4	本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を胎動して移住した世帯数	子育て世代の移住の促進を評価するため。	0世帯	KPIの目標値	2	2	3	7
			計測年月	KPIの実績値	0	—	—	0
			令和5年3月	目標値に対する達成度(%)	0	—	—	0
5	MVP(Minimum Viable Product)の開発数	創業支援事業については、創業後は、コンソーシアム内で共有された情報をもとに、成長に応じた適切な支援策へと繋げることとしており、MVP(Minimum Viable Product)の開発数は適切な支援に接続できたか効果を図ることができることから、評価指標とする。計測については、コンソーシアム内で独自集計する。	0件	KPIの目標値	5	5	5	15
			計測年月	KPIの実績値	5	—	—	5
			令和5年3月	目標値に対する達成度(%)	100.0	—	—	33.3